

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社 ゼンショーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <http://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経本部長 (氏名) 福元 哲朗 (TEL) 03 (6833) 1600
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	227,649	10.7	4,342	△51.3	4,123	△49.4	404	△87.3
25年3月期第2四半期	205,618	3.7	8,917	△31.2	8,146	△31.3	3,176	△13.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 849百万円 (△75.0%) 25年3月期第2四半期 3,393百万円 (△23.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	3	34	—	—
25年3月期第2四半期	26	23	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
26年3月期第2四半期	255,704	55,094	55,094	55,094	16.4	346	68	
25年3月期	258,509	55,218	55,218	55,218	16.5	351	83	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,975百万円 25年3月期 42,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	8	00	—	8	00
26年3月期	—	8	00	—	8	00
26年3月期(予想)	—	8	00	—	8	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	454,406	8.8	8,327	△43.5	7,454	△46.3	571	△88.7	4	72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	121,100,000株	25年3月期	121,100,000株
26年3月期2Q	23,629株	25年3月期	23,497株
26年3月期2Q	121,076,416株	25年3月期2Q	121,076,663株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2013年4月1日から2013年9月30日まで）におけるわが国経済は、新政権による経済政策・金融政策の効果により株価上昇等の動きがみられたものの、個人の可処分所得については未だ増加の兆しがみられず、消費支出の本格的な回復には至っておりません。また、消費税増税による実質所得の減少が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、食材価格の高値圏での推移やエネルギーコストの上昇など引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、「すき家」をはじめとする牛丼カテゴリーの既存店売上高前年比は93.6%、「ココス」、「ジョリーパスタ」をはじめとするレストランカテゴリーの既存店売上高前年比は99.8%、「はま寿司」をはじめとするファストフードカテゴリーの既存店売上高前年比は100.1%となりました。収益面につきましては、米・牛肉価格をはじめとする食材価格の高値圏での推移や電気料金の上昇等により、前年対比減益となりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、114店舗出店、33店舗退店等により、4,722店舗となりました。

当社はフード事業の単一セグメントであります。その内訳は、外食と小売の2事業から成ります。

①外食事業

外食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,140億80百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は51億31百万円（同42.2%減）となりました。

外食事業における主要カテゴリーの状況は以下の通りです。

(牛丼カテゴリー)

牛丼カテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、67店舗出店、14店舗退店した結果、2,518店舗となりました。内訳は、「すき家」1,957店舗、「なか卯」480店舗（FC24店舗を含む）等であります。

株式会社ゼンショーが経営する牛丼チェーンの「すき家」では、新規出店および広告宣伝等によるブランド力の強化を行うとともに、「やきそば牛丼」（並盛390円）、「お好み牛玉丼」（並盛390円）、「旨ポークカレー」（並盛450円）等の新商品や「うな井」（並盛780円）等のシーズナル商品を投入し、商品力強化を行ってまいりました。加えて、お客様に安全でおいしい商品を安心して召し上がっていただくために、引き続き品質管理の強化とサービス水準の向上に努めてまいりました。

株式会社なか卯が経営する和風牛丼・京風うどんの「なか卯」につきましては、新商品・季節限定商品の投入や既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化と店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛丼カテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、901億81百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、2店舗出店、16店舗退店、グループ内他業態への転換等を行った結果、1,530店舗となりました。

株式会社ココスジャパンが経営するスタンダードレストランの「ココス」につきましては、メニューのラインナップの強化、ごちそう感のあるフェアメニューの投入及び店舗のサービス水準の向上に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ビッグボーイジャパンが経営するハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」等につきましては、メイン商品のブラッシュアップを図ると共に、サラダバー・スーパバーの充実やフェアメニューの投入を行うなど、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ジョリーパスタが経営する茹であげスパゲッティと手作りピッツアの「ジョリーパスタ」につきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、パスタソースの継続的な改良や季節メニューの投入等を行い、一層のおいしさを追求してまいりました。

株式会社華屋与兵衛が経営する和食レストランの「華屋与兵衛」につきましては、お客様の満足度の向上を図るため、安全・安心でおいしい商品の開発および店舗従業員の教育強化によるサービス水準の向上、労働生産性の改善等に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、754億59百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

(ファストフードカテゴリー)

ファストフードカテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、43店舗の出店等を行った結果、580店舗となりました。

株式会社はま寿司が経営する回転寿司の「はま寿司」につきましては、積極的な出店による業容の拡大を図るとともに、商品品質の向上、店舗サービスの強化等に努めてまいりました。

以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、393億21百万円（前年同期比37.2%増）となりました。

(その他カテゴリー)

その他カテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、91億18百万円（前年同期比21.3%増）となりました。当カテゴリーの主な内訳は、ピッツア製造販売等の株式会社トロナジヤパン、醤油製造の株式会社サンビシ、グループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

②小売事業

当社の当第2四半期連結累計期間における小売事業は、スーパーマーケット事業を展開する株式会社マルヤ、青果販売等の株式会社ユナイテッドベジーズの2社から成ります。

小売事業につきましては、現在構造改革の途上であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は135億68百万円、営業損失は7億89百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,276億49百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益43億42百万円（同51.3%減）、経常利益41億23百万円（同49.4%減）、四半期純利益4億4百万円（同87.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、建設協力金の流動化等により前連結会計年度末から28億5百万円減少いたしました。

負債につきましては、未払消費税等の減少等により前連結会計年度末から26億80百万円減少いたしました。

純資産につきましては、配当金支払による利益剰余金の減少等により前連結会計年度末から1億24百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前当期純利益及び減価償却費等による増加があった一方、出店に伴う支出、借入金の返済、支払利息、法人税等及び配当金の支払いによる支出等を行った結果、164億38百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純利益及び減価償却費等により、100億36百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、新規出店に伴う有形固定資産の取得や関係会社株式の取得による支出等により、115億11百万円の資金の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により、12億円の資金の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2013年5月14日に公表いたしました2014年3月期第2四半期累計期間（2013年4月1日～2013年9月30日）の業績予想及び2014年3月期通期（2013年4月1日～2014年3月31日）の業績予想につきましては、2013年11月1日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当初予想を下回る見込みとなりましたので修正を行いました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,657	16,438
受取手形及び売掛金	4,748	4,337
商品及び製品	10,012	10,418
仕掛品	510	565
原材料及び貯蔵品	2,492	2,740
その他	13,403	10,826
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	49,816	45,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	160,366	163,860
減価償却累計額	△82,418	△84,530
建物及び構築物（純額）	77,947	79,330
機械装置及び運搬具	12,583	13,817
減価償却累計額	△6,040	△6,486
機械装置及び運搬具（純額）	6,542	7,331
その他	74,069	77,630
減価償却累計額	△34,087	△36,338
その他（純額）	39,981	41,292
有形固定資産合計	124,471	127,953
無形固定資産		
のれん	12,399	12,751
その他	5,054	6,017
無形固定資産合計	17,453	18,769
投資その他の資産		
投資有価証券	4,276	3,181
差入保証金	32,921	33,047
その他	29,398	27,304
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	66,574	63,511
固定資産合計	208,498	210,234
繰延資産	194	152
資産合計	258,509	255,704

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,281	12,166
短期借入金	1,876	7,244
1年内償還予定の社債	5,990	5,990
1年内返済予定の長期借入金	38,270	34,560
未払法人税等	3,280	2,846
引当金	1,466	1,405
その他	33,005	30,028
流動負債合計	97,170	94,241
固定負債		
社債	19,583	16,590
長期借入金	72,522	75,748
引当金	582	572
資産除去債務	1,609	1,656
その他	11,822	11,800
固定負債合計	106,120	106,368
負債合計	203,291	200,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,089	10,089
資本剰余金	10,642	10,642
利益剰余金	25,812	25,067
自己株式	△20	△20
株主資本合計	46,524	45,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△698	△705
繰延ヘッジ損益	△149	△245
為替換算調整勘定	△3,076	△2,852
その他の包括利益累計額合計	△3,924	△3,803
少数株主持分	12,619	13,118
純資産合計	55,218	55,094
負債純資産合計	258,509	255,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
売上高	205,618	227,649
売上原価	74,603	90,395
売上総利益	131,015	137,253
販売費及び一般管理費	122,097	132,911
営業利益	8,917	4,342
営業外収益		
受取利息	178	197
受取配当金	84	53
受取賃貸料	171	157
為替差益	—	285
その他	374	390
営業外収益合計	809	1,084
営業外費用		
支払利息	1,052	923
賃貸費用	172	136
その他	355	243
営業外費用合計	1,580	1,302
経常利益	8,146	4,123
特別利益		
固定資産売却益	0	84
投資有価証券売却益	—	119
その他	12	7
特別利益合計	12	211
特別損失		
固定資産除却損	213	325
減損損失	130	—
その他	186	273
特別損失合計	530	599
税金等調整前四半期純利益	7,628	3,735
法人税、住民税及び事業税	3,632	2,871
法人税等調整額	168	106
法人税等合計	3,801	2,978
少数株主損益調整前四半期純利益	3,827	757
少数株主利益	650	353
四半期純利益	3,176	404

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,827	757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	△26
繰延ヘッジ損益	131	△96
為替換算調整勘定	△336	214
その他の包括利益合計	△434	91
四半期包括利益	3,393	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,749	525
少数株主に係る四半期包括利益	643	324

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,628	3,735
減価償却費	8,249	9,109
減損損失	130	—
のれん償却額	463	480
負ののれん償却額	△1	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	113	△61
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8	△10
受取利息及び受取配当金	△263	△251
支払利息	1,052	923
為替差損益 (△は益)	105	△245
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△119
有形固定資産売却損益 (△は益)	26	△55
有形固定資産除却損	207	326
その他の特別損益 (△は益)	12	24
その他の営業外損益 (△は益)	△14	△19
売上債権の増減額 (△は増加)	530	733
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,322	△264
仕入債務の増減額 (△は減少)	△757	△1,432
未払消費税等の増減額 (△は減少)	110	209
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,233	1,394
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	402	352
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△898	△673
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	90	264
小計	14,631	14,409
利息及び配当金の受取額	26	71
利息の支払額	△903	△905
法人税等の支払額	△6,492	△3,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,261	10,036

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,852	△10,241
有形固定資産の売却による収入	84	106
無形固定資産の取得による支出	△246	△194
無形固定資産の売却による収入	2	40
長期前払費用の取得による支出	△138	△94
投資有価証券の取得による支出	△7	△20
投資有価証券の売却による収入	—	372
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△370	△2,612
貸付けによる支出	△104	△1
貸付金の回収による収入	2	2
差入保証金の差入による支出	△949	△682
差入保証金の回収による収入	261	354
保険積立金の増減額 (△は増加)	△2	△2
権利金の増減額 (△は増加)	△71	△70
長期前払家賃の支出	△1,526	△1,429
長期前払家賃の流動化による収入	—	2,975
その他	△76	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,995	△11,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△903	5,271
短期社債の純増減額 (△は減少)	7,000	—
長期借入れによる収入	17,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△24,806	△20,488
社債の発行による収入	9,000	7,000
社債の償還による支出	△1,595	△9,995
リース債務の返済による支出	△1,475	△1,894
自己株式の取得による支出	—	△0
連結子会社の自己株式取得による支出	—	△0
割賦債務の返済による支出	△35	△8
配当金の支払額	△967	△968
少数株主への配当金の支払額	△99	△116
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,117	△1,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△575	△2,526
現金及び現金同等物の期首残高	18,580	18,657
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	307
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,004	16,438

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自2012年4月1日 至2012年9月30日)

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自2013年4月1日 至2013年9月30日)

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。